

# 中川ただあき[県政通信]

# Water 水

第18号

Nakagawa Tadaaki Kensei Tsushin

《ウォーター》

●発行日／平成20年2月1日 ●発行所／中川ただあき後援会事務所

自由民主党富山県議会議員会



福田総理と固い握手  
(全国幹事長・政調会長合同会議にて  
10月24日)

そのためには倫理を中心とした人間教育をしっかりと取組まなければなりません。教育基本法が改正されましたが、実施段階への道のりはまだ遠いと言わざるを得ません。今年は、もつともっと教育に力を入れたいと考えています。国会がだめなら県議会がしっかりと頑張らなくてはなりません。こんな気持ちで頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

今年は「戊子(つちのえね)」で、新しい生命が種子に宿り始める状態を表していると言われています。即ち、私流に言えば、良いものを見つけ定着させる出発点になる年であり、次なる時代が良くなるかならないかの岐路になる年であると思います。このことを肝に銘じて今年も一生懸命、県政の課題に取組んでまいりますので、温かいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、あいさつといたします。

雪のある清新さがただよう中で始まった本年。皆様には初春を健やかにお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年は皆様のお陰で二期目のスタートを切ることができましたこと、さらに政調会長として働く場を与えていただきましたことに深く感謝申し上げますとともに、心から厚く御礼申し上げます。昨年、本県では定数が45人から40人へ削減という大変厳しい県議会議員選挙があり、参議院選挙では自民党が大敗し、国政を揺るがす結果となり、まさに激動の年がありました。

また、昨年の漢字は「偽」でありましたが、その通りでした。見つかったら謝る。頭を下げる姿が何よりも日本の「風物」になつたような気がします。残念でなりません。こんなことばかりが何時まで続くのか。昨年は、「悪いことはそぎ落とし、良いことだけ残して、エネルギーを蓄え、良いことへ一気に進む。こんな年である。」と書きましたが、本当に悪い臍はどうどん出し切つてしまわないと日本は本当に良くならないと思います。

雪のある清新さがただよう中で始まった本年。皆様には初春を健やかにお迎えのこととお慶び申しあげます。

昨年は皆様のお陰で二期目のスタートを切ることができましたこと、さらに政調会長として働く場を与えていただきましたことに深く感謝申し上げますとともに、心から厚く御礼申し上げます。昨年、本県では定数が45人から40人へ削減という大変厳しい県議会議員選挙があり、参議院選挙では自民党が大敗し、国政を揺るがす結果となり、まさに激動の年がありました。

また、昨年の漢字は「偽」でありましたが、その通りでした。見つかったら謝る。頭を下げる姿が何時まで続くのか。昨年は、「悪いことはそぎ落とし、良いことだけ残して、エネルギーを蓄え、良いことへ一気に進む。こんな年である。」と書きましたが、本当に悪い臍はどうどん出し切つてしまわないと日本は本当に良くならないと思います。

そのためには倫理を中心とした人間教育をしっかりと取組まなければなりません。教育基本法が改正されましたが、実施段階への道のりはまだ遠いと言わざるを得ません。今年は、もつともっと教育に力を入れたいと考えています。国会がだめなら県議会がしっかりと頑張らなくてはなりません。こんな気持ちで頑張りますのでよろしくお願ひ申し上げます。

今年は「戊子(つちのえね)」で、新しい生命が種子に宿り始める状態を表していると言われています。即ち、私流に言えば、良いものを見つけ定着させる出発点になる年であり、次なる時代が良くなるかならないかの岐路になる年であると思います。このことを肝に銘じて今年も一生懸命、県政の課題に取組んでまいりますので、温かいご支援とご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

最後に、皆様のご健勝とご多幸を心から祈念申し上げ、あいさつといたします。

平成20年2月吉日

富山県議会議員

中川忠昭

## 安心して暮らせる県づくりは、医療の充実から!

いま、医師不足や療養病床の削減などによって、全国で医療に対する信頼と安心が崩れかけている。富山で毎年行っている県政世論調査においても、県民の要望のトップは「医療の充実」です。富山の医療は、どうなっているのか。安心して暮らせる県をつくるためにも、みんなで一緒に考えたい。

### ◆なぜ、医師が不足しているのか？

本県には、25の公的病院がある。そのうち、10の病院が富山医療圏（富山市、中新川郡、滑川市）にあり、富山市には8つの病院（県立中央病院、富山市民病院、富山大学附属病院、富山赤十字病院、済生会富山病院、高志リハビリテーション病院、富山通信病院、富山病院）がある。これらの病院が、救急医療、小児医療、周産期医療などのさまざまな役割を担っています。

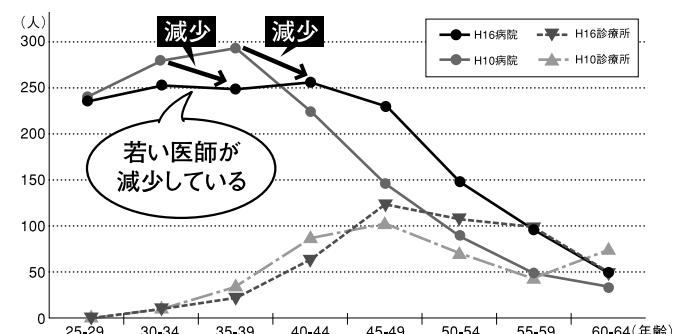
では、富山県内の医師数はどうか。県全体の医師数は全国平均（人口10万人対）を上回っているが、医師の半数以上が富山医療圏に集中している（資料1）。また、本県の医師数の推移を見てみると、平成10年と16年との比較で、病院勤務医師の若い世代が減少していることがわかる（資料2）。また、公的病院での主な診療科の医師不足数（必要数－現員）は、小児科で8人、産婦人科で9人、麻酔科で11人で、他の診療科で100人を超えるといわれている。

資料1【医療圏別・診療科別の医師数（平成16年12月31日現在）】

	医療施設従事医師数		小児科		産婦人科		麻酔科	
	医師数	人口（人）	医師数	小児（人）	医師数（人）	出生千対	医師数（人）	人口10万人対
富山県	2,386	213.6	148	9.9	106	11.3	61	5.5
新川	224	167.5	9	5.2	9	8.6	6	4.5
富山	1,304	257.7	90	12.7	56	12.4	33	6.5
高岡	590	183.1	38	8.9	30	11.6	17	5.3
砺波	268	171.0	11	5.3	11	8.7	5	3.2
全国	256,668	201.0	14,677	8.3	12,156	10.9	6,397	5.0

平成18年末の本県の医師数は2,443人と増加しているものの、小児科医が1人減、産婦人科医が9人減、麻酔科医が1人増加となっており深刻な状況には変わりない。

資料2【県内の病院・診療所における医師数の推移】



こうした医師不足の原因は何か。一つは、2004年からスタートした新医師臨床研修制度にあると言われています。

以前は医学部を卒業して、母校の診療科（医局）に入り、そこから関連病院に派遣され研修をしていました。関連病院にとっては貴重な労働力になっていました。しかし、現在は研修先を母校の医局に限らず自由に選べるために、都会や有名病院へ行く傾向が強く、地方大学の医局に新人が不足することになる。そのために派遣先の関連病院から医師を引き揚げざる現象が起きているのです。

また、自由に選べることから激務の診療科での研修を避ける傾向もあります。二つめは、勤務医が過酷な労働を強いられることであると言われています。厚生労働省の「医師の需給に関する検討会の調査」によれば、日本の医師の平均労働時間は週63.3時間で、月に90時間以上の時間外勤務をしてることが明らかになった。宿直や日直勤務の回数も決められてはいるが、守られていない。医師の過重労働は、注意力の散漫状態を作り、患者の安全脅かすことになる。医師だけの問題ではない。

### 平成19年12月議会での一般質問

#### 県立中央病院の状況は！

中川●医師が定着し、育つ環境を率先してつくっていくために、県立中央病院の医師定数の増を確保し、処遇改善を図るなど思い切った対策を講じなければ、今後新たに医師を確保することは難しい。県立中央病院の医師は兼務も多く、休む暇もないほど診療や手術に追われている。いつ辞められてもおかしくない状況にあると聞いている。知事の所見を伺いたい。

石井知事◆県立中央病院は、全県的な高度先進医療の提供、救急医療などの政策医療、臨床研修病院として医療人材などの機能を担いつつ、症状の軽度な方も含めて1日当たり約1,700人の外来患者の診療に当るなど多種多様な機能や役割を果たしている。これらに加え、近年では平均在院日数の大幅な短縮等により、医師の業務量は確実に増加していると考えている。

このような状況において、医師にとって魅力があり、働きやすい病院となるよう、平成19年4月に医療の質の向上と業務の効率化を図る電子カルテシステムを導入した。また、平成20年4月には、がんの放射線治療に用いるアリニックの更新、外来化学療法室の整備、緩和ケア病床の増床など、県がん診療連携拠点病院としての機能強化のため順次必要な設備機器などの整備を進めている。

医師数についても、診療棟がオープンした平成7年度に12名を増員して以来、集中改革プランの策定・実施など県職員数を削減している状況においても平成19年度までに14名を増員するとともに、卒後2年までの初期臨床研修医や即戦力に近い卒後3年以降の後期研修医の確保にも努めてきたところである。

今後も県立中央病院については、高度先進医療を効率的

に提供する急性期病院としての機能を一層明確にするとともに、引き続き必要な医師数の確保や定着に努め、限られた医療資源を最大限にかつ効率的に活用することで、医師の勤務環境の改善と患者本位の質の高い医療サービスの提供につなげたいと考えている。

私としては「平成19年度富山県政世論調査」において、「医療の充実」が2年連続でトップとなったことを重く受け止めており、県民の皆さんへの期待に応えられるよう積極的に取り組んでまいりたい。

## 県政ハ 喝!

県では、医師確保対策として「修学資金貸与の充実」「初期臨床研修医（卒後1~2年）・後期臨床医（卒後3年以上）の確保と県内定着」「女性医師を支援する制度」などを講じているが、これ以外に病院の研修内容（学会への参加、医師との交流など）の充実や住居環境対策など、研修医が集まる環境をしっかりと整えることです。また、富山大学に支援することも大切であり、県が自ら医師を育していくという姿勢を明確にすることが一番肝要である。

みなさんのご意見をお聞かせください

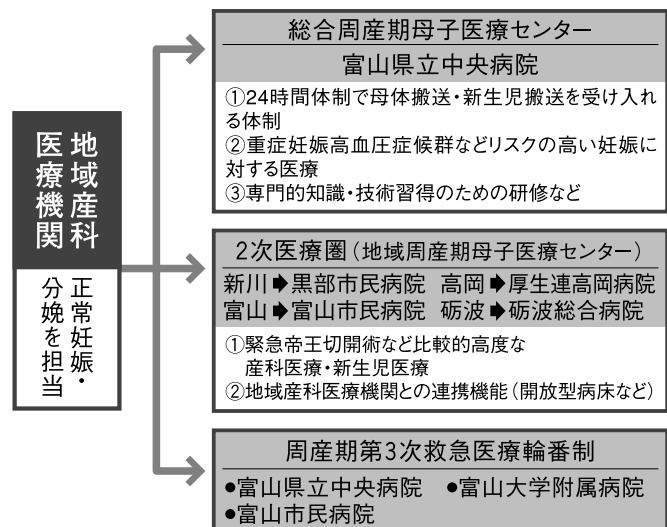
### ◆周産期死亡率の高い原因は何か！

周産期とは、妊娠して満22週以後から生まれてまもなくまでの期間のこと。本県では過去に、この期間に死亡する赤ちゃんが多くいた。そのため、平成8年に県立中央病院に母子医療センター（現在の総合周産期母子医療センター）を設置。さらに平成9年には各医療圏ごとに周産期母子センターを設置し、ハイリスクの妊婦や新生児に対する医療の充実を図ってきた（資料3）。

ところが、平成17年までは全国的にも低く推移していた周産期死亡率が、平成18年に急激に高くなり、不名誉にも全国一位となってしまった。そこで、昨年5月の厚生環境常任委員会で、私は何故このような高い数値になったのか追求した。しかし、答弁者から返ってきたのは、「把握していない」という答えだった。なんということだ。原因を分析して対策を

立てないことには、富山で安心して子どもを育てられないではないか。私は早急に調査することを約束させた。そして、富山県周産期保健医療協議会に「後期死産の要因分析に関する作業班」が設置され、昨年末に中間報告（資料4）が行われた。

### 資料3【富山県の周産期医療ネットワーク】



### 資料4【調査のまとめ】

- (1) 富山県の平成18年の後期死産症例について、医療機関相互の連絡不備や母体搬送ネットワークの不備を持つと考えられる症例はなかった。
- (2) かかりつけ医を持たない妊婦の症例や、妊婦健診を受けないままに後期死産に至った症例はなかった。
- (3) 後期死産の状況については、平成18年が偶発的な事象であったのか、あるいは今回は明らかにならなかった何らかの要因に基づくのかを見極めるため、引き続き経過を追っていく必要がある。

今回の調査では、要因を明らかにすることはできなかったが、依然として周産期死亡率の高いことが予想される。この調査は、今回だけで終わらせるのではなく、これからも毎年行っていく必要がある。

## 特集 2 とやまの国際交流

### 身近なところから、 国際交流をはじめよう！

昨年5月に、富山県日華親善協会（会長：中川忠昭）を設立し、初めての事業として台湾を公式訪問（11/15～18）してきました。おかげさまで、66名もの多くの方々にご参加いただき、心より感謝の気持ちを申し上げます。訪問先は、外交部、台北市議会、台湾観光協会、台日経済文化協会、忠烈祠、総督府などで昨年6月に開業した新幹線に乗り高雄まで行き精力的に行動し、親善を深めました。

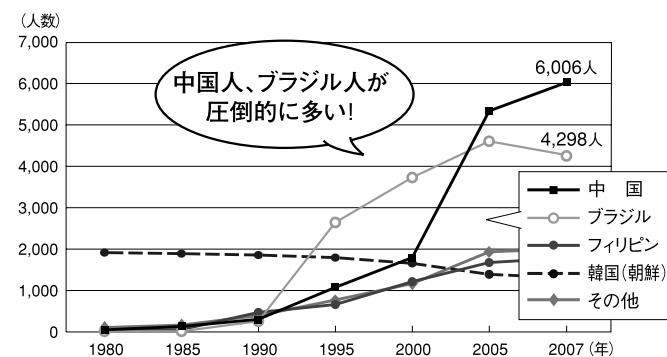
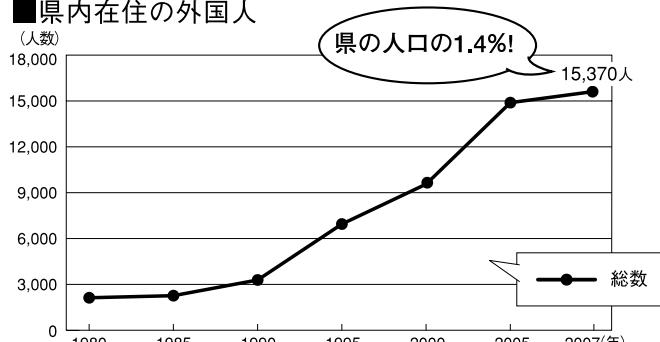
今日では、さまざまな分野でグローバル化が進み、「人、もの、情報」が自由に行き交っています。しかし、その一方では飢餓や貧困にあえぐ国があり、エネルギー源の奪い合いや民族紛争などの国家間の戦いも熾烈になってきています。これらを解決するためには、どうすればいいのか。私は、国家・地域間の相互理解と協力が不可欠だと考えます。

そのための第一歩とも言えるのが、互いの国民の草の根交流ではないだろうか。国境をこえた、人と人のふれあい。国と国との交流も、そこから始まります。県内にも、さまざまな国との親善をはかる組織がたくさんある。そして、さまざまな

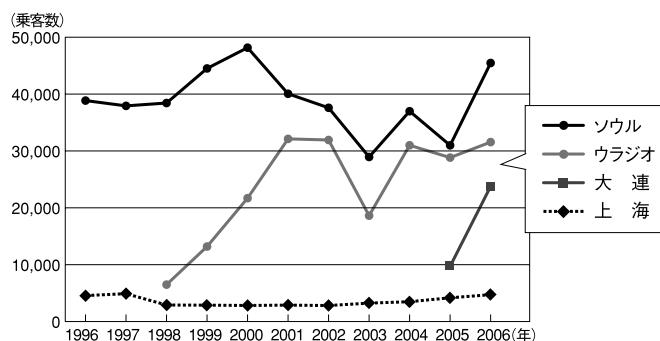
国の人びとが住んでいます。皆さんも、身近なところから国際交流をはじめてはいかがだろうか。きっと、新しい世界が見えてくるにちがいない。

また、いろんな国の人びと交流するには、近いところから海外に行けると便利だ。そのためにも、富山国際空港の活用がもっと必要だと思う。

### ■県内在住の外国人



### ■富山国際空港に発着する定期便の利用状況



### ■富山国際空港に発着するチャーター便

平成4年から平成18年までに、富山からチャーターしたのは15ヶ国（合計1,066便）で、約15万3千人が利用した。また、海外

### ●富山県日華親善協会で台湾を公式訪問（2007年11月）



台湾外交部日本事務会 黄会長と



台北市議会訪問



台湾観光協会訪問

からのチャーター便は3ヶ国で、約7万8千人が利用した。最近では台湾からの観光客が圧倒的に多くなっている。

## 平成19年12月議会での一般質問

### ■台湾への定期便を！

中川●新たに小松・台北と宮崎・台北の定期航路開設が決まっているが、今後、富山空港と台湾を結ぶ定期便を開設する考えはないのか。本年5月に設立した県日華親善協会の主催で台湾を公式訪問したが、台湾では新幹線開業の影響で航空機が余る状況が生じ、新規需要開拓に努力しているとのことである。

藤木知事政策室長◆台湾から富山県へのインバウンドの観光客数は、立山黒部アルペンルートでは今年度約87,500人であるが、このうち富山空港へのチャーター便利用者は約15,000人（全体の約17%）であり、ほとんどはセントレアや関空発着の定期便利用による観光客である。

また、台湾で人気の高い立山黒部アルペンルートは、4月中旬から11月までが営業期間であることから、富山空港へのチャーター便も4月から11月までの運航であり、セントレアや関空発着の定期便利用による本県への観光客も季節による偏りが非常に大きい。

新たな定期路線を開設するには、ビジネス需要も含め一年を通して安定的な需要が見込めることが、ある程度の双方向の需要が見込めることが必要と考えている。現状では季節的な偏りが大きいことや富山からのアウトバウンドの利用が少ないと、さらには本県から台湾への進出企業も少ないと、定期路線の開設は容易ではない。

このようなことから、まずは世界遺産の五箇山合掌集落や冬の富山の味覚、温泉など、一層の富山県のPRに努めることによって裾野を広げ、通年での誘客促進に向けた努力が必要なのではないかと考えている。

### ■子どもの交流から

中川●本県の小中高生と台湾の学校との交流推進に取り組むべきと考える。生活習慣や文化・価値観を理解し合い、世界の平和と発展に貢献していくことが大切であるが、それ

には子どもの頃から交流を実践することが一番の早道であると考える。

**東野教育長**◆次代を担う県内の青少年がグローバルに活動し、国際社会に貢献する人材として育つよう、小中高生の国際理解教育、国際交流の促進が大変重要であると考えている。

県内の公立学校においては、これまで所在している市町村の姉妹都市提携や企業の海外進出などをきっかけに、それぞれの学校間で交流が始まり、教育、文化、スポーツなどの様々な分野で着実な交流が行われている。

これらの交流を通して、次代を担う双方の小中高生がお互いに理解を深めることはとても大切であるが、児童生徒を相互に派遣する場合、安全の確保、交流に伴う教育効果の見通し、保護者の理解、経済的負担の度合いなど、様々な課題を検討する必要がある。

現在のところ、台湾の学校との学校間の交流については特に聞いていないが、今後、本県と台湾との間で様々な交流が積み重ねられていく過程で、学校間交流についての条件が整うものであれば、県教育委員会としても情報提供や助言などの支援について検討してまいりたい。

## 知っていますか?「逆さ地図」

**中川**●環日本海諸国図、いわゆる逆さ地図では台湾の一部しか載っていないが、台湾からこれだけ多くの観光客が訪れる状況下で、全土を掲載するべきと考える。富山空港の国際ターミナルの壁面にも掲載されている。

**埴生土木部長**◆環日本海諸国図、通称「逆さ地図」については、平成6年に本県が国土地理院長の承認を得て作成したもので、見なれた世界地図の北と南を逆さにして、大陸から日本を見るユニークな発想の地図である。

この「逆さ地図」は、本県が進めている環日本海交流の拠点づくりを国内にPRするとともに、中国、ロシアなどの対岸諸国に対し、日本の重心が富山県沖の日本海にあることを強調するために作成したものである。

日本海を取り囲むような環日本海地域や日本と周辺の国々との位置関係を再認識させるものと評価されており、昨年度は

2,260部を販売するなど、県外の研究者や教育者、メディアからも地図の入手方法や著作物への掲載についての多数の問い合わせをいただいた。

この地図では、台湾は一部分しか載っていないが、それはこの地図が富山県を地図の中心に置いた上で、北方四島から南西諸島までの日本全土を載せられるよう範囲を設定したためである。

ご提案の台湾全土を掲載することについては、近年、チャーター便を利用した台湾からの観光客が増加し、さらなる誘客が重要視される今、国際観光推進の上で有意義なものと考えるが、「環日本海諸国図」として、(1)本来の作成意図から外れたものとなることへの懸念、(2)定着している地図の評価に及ぼす影響、(3)地図の縮尺からみた掲載可能な範囲の制約などの課題もあることから、今後新たな「逆さ地図」の作成を検討するとともに研究を続けていきたい。

## 個人向け長期滞在型の誘客を!

**中川**●台湾への観光戦略において、個人向けや長期滞在型での誘客に積極的に取り組むべきと考える。台湾からの県内を訪れる観光客は通過型になっており、県内経済に及ぼす効果が少ない状況にある。また、最近は台湾を訪問する知事も増えてきたと聞いている。韓国戦略の一環として、台湾訪問の考えはないか。

**石井知事**◆台湾からの誘客については、現地での観光キャンペーンや航空会社、旅行会社などの招聘などに積極的に取り組み、ここ数年来、観光客数は大きく伸びている。しかし、立山黒部アルペンルートなど、県内の観光地を訪れる観光ツアーの中には、ツアーの日程上の問題や訪問時期によっては県内の宿泊先を確保するのが難しいなどの事情で、県内を通過している観光客も見受けられるため、宿泊者数については今後伸びる余地がある。

県としては一人でも多くの方に県内に宿泊していただくよう、(1)本県には立山黒部アルペンルートだけでなく、世界遺産の五箇山合掌集落や国宝瑞龍寺、そして四季折々の食の魅力など、全国に誇れる多数の観光資源に恵まれていること、(2)温泉や食の魅力も兼ね備えた宿泊地があることなど、本

歩いた! 語った! 学んだ!

## 中川ただあき視察レポート



石井知事と自民党県連役員とで北陸新幹線の予算確保と地元負担金の軽減について要望



能登半島地震の復旧状況を視察



厚生環境常任委員会で陸奥市民病院(青森県)を視察

県観光地の魅力を旅行会社などに引き続き強くアピールしていきたいと考えている。

また、県内の宿泊施設に対しては、今後、増加が予想される個人客・長期滞在客への対応も考慮しつつ、(1)県の支援制度も活用しながら、外国人の受け入れ態勢の整備促進を図ること、(2)おもてなしの心を持って接遇や顧客サービスに努めていただくことをお願いしていきたいと考えている。

私自身の台湾訪問については、これまで台湾から航空会社や旅行会社の幹部の方々が来県された折には、できるだけ私自身が直接お会いし、本県の観光地の魅力を積極的に紹介・

アピールとともに、チャーター便の運航などを強く要請してきているが、私自身が台湾を訪問し、航空会社や旅行会社などに直接働きかけ、誘客に努めることは、さらに意義あることと考えている。

しかし、他の重要な公務も多いことから、いつ、どのような形で訪問するのが最も効果的で意義があるか、他に配慮すべき事柄がないかなど、見極めが必要である。けれども、折角のご提案であり、今後その可能性について十分に検討してまいりたい。

自民党の党折衝で4月に石井知事訪台決定!

## 自民党は、農業と農村を守る!

自民党的総合農政調査会の農業基本政策小委員会では10月17日から11月21日にかけて10回にわたり、議論を重ねコメ政策見直しをまとめ、平成19年度補正予算を含め1,111億円を上積みすることを要望した。その結果、額賀財務大臣は補正と20年度予算の追加措置によって実行することを約束。

これからの農政についてご意見ください

### 〈額賀財務大臣が約束したこと〉

- 生産調整に500億円
- 飼料米・バイオ米導入
- 生産調整に行政も一体となる
- 面積要件は市町村特認創設
- 認定農業者の年齢制限撤廃
- 集落営農の要件を緩和
- 小麦・てん菜の増収支援

※自由民主農業政策特集第2弾から抜粋

## 地元建設業の存続に向け、積極的な取り組みを!

中川●公共投資の減少で県内建設業は極めて厳しい状況にあるが、地域の建設業の存続に向け、入札契約制度において早急な対応が必要と考える。不適正な価格競争が増加し、品質の確保への支障、下請け・労働者へのしわ寄せなどが懸念されるとともに、災害協力や除雪対応など地域社会に貢献する地元建設業の存続が危ぶまれる。具体的な取り組み方針について問いたい。

埴生土木部長◆入札制度については、その透明性や競争性を高めるとともに、技術力に優れ、地域に貢献する県内建設企業にも十分配慮しながら見直しを進めてきた。具体的には、(1)一般競争入札の拡大に合わせ、10億円以上24億1千万円未満の工事については、原則として県内企業による共同企業体とし、県内企業で施工可能な工事は県内企業に発注することを明確にしたこと、(2)一般競争入札の参加条件を土木センター管内の企業に限定するなど、事業規模に応じた地域要件を定めたこと、(3)著しい低価格の入札を失格とする数値判断基準を設定するとともに、低入札工事については検査の運用強化や下請取引実態調査等を実施し、工事の品質確保を図ることとした。

しかしながら、県内建設企業を取り巻く環境は一層厳しさを増していることから、今後はさらに、(1)1億円以上3億円未満の工事の地域要件について、県東部・県西部に区分するなど、地元企業に配慮し、よりきめ細かく設定する

## 平成19年12月議会での一般質問

### 飼料用の稻の作付けを!

中川●県では飼料用の稻の作付けを行なうモデル実証を行っているが、その成果について問う。また、成果をふまえ、県下に飼料用の稻の作付けを広めていく時期ではないのか。(飼料用の稻の作付けは、生産コスト、品種、栽培技術、支援策、さらには稻作農家と畜産農家との連携をいかに図るかなどの面で課題があるが、水田機能を維持保全するためにも積極的に進めていく必要がある。)

寺林農林水産部長◆飼料用の稻については、本年度、富山市婦中町において稻作農家(組織)4戸と肉牛農家1戸が連携して11ha栽培し、肥育牛に給与するモデル実証を行ったところである。この取り組みは、稻作農家が栽培管理を行って、交付金等を受け取り、畜産農家は収穫した飼料用の稻を肥育牛に給与し、収穫後の水田に堆肥を散布する仕組みである。

今年度の飼料用の稻の収穫量については、10a当たり約1.4tと多収で実用性が確認されるとともに、和牛に給与した結果、その肉質は極上肉と高く評価され、飼料用の稻の給与によって高品質な牛肉の生産が可能なことが実証されたところである。しかしながら現状では、(1)飼料用稻の生産コストが牧草に比べて割高になること、(2)点在している畜産農家と供給元になる稻作農家との結び付きが希薄であることなど、解決しなければならない課題がある。

このため、県としては、飼料用の稻の品種選定や低コストな栽培技術の研究を進めるとともに、普及拡大にあたっては産地づくり交付金や耕畜連携水田活用対策事業を活用して、畜産農家と稻作農家との連携促進を図る必要があると考えている。今後、このモデル実証の成果をふまえ、普及指導センター等による飼料用の稻に関する生産組織づくりや畜産農家との連携強化を図るとともに、市町村や関係団体とも十分協議しながら、飼料用の稻の安定的な生産・流通と普及定着を進めてまいりたい。

こと、(2)総合評価方式において、地域性等の評価を重視すること、(3)入札参加資格審査においても、災害協力や除雪参加企業に対する配点ウエイトを高めることなどについて検討したいと考えている。

また、新たな試みとして地域に密着した2千万円未満の工事について、災害協力や除雪実績を有する企業のみを対象とした発注方法を導入することも検討したいと考えている。

いずれにしても、県内建設企業は地域の雇用をはじめ災害時の協力や除雪対応など、地域社会に様々に貢献していることから、技術力に優れ地域に貢献する県内企業が引き続き存続、発展していくよう、県内建設業界の状況や地域性にも十分配慮しながら、公正で適切な入札制度の見直しに取り組んでまいりたい。

## スマートインターチェンジへアクセスする道路の整備を!

**中川●**北陸自動車道の流杉パーキングエリアを活用したスマートインターチェンジから上滝方面へとつなぐアクセス道路の整備が極めて重要であり、県として計画路線を設定し、整備するべきと考えています。

える。立山方面の観光地および旧大山町から最も近いインターチェンジとなる。

**埴生土木部長◆**流杉パーキングエリアを活用したスマートインターチェンジの設置については、富山市街地はもとより、上滝や立山方面への利便性が向上し、地域の活性化に大きく寄与するものと考えており、今年度末の社会実験開始を目指して、国、県、富山市が連携してインターチェンジ本体の造成をはじめ、県道の交差点改良を含む周辺の道路整備を進めているところである。

スマートインターチェンジから上滝方面へのアクセス道路としては、現在、富山市において、インターチェンジに接続する市道流杉17号線や西番地内における市道横内西ノ番線の拡幅工事が進められているところであり、当面はこれらの道路整備により上滝方面へのアクセスは確保できるものと考えている。

また、県道の整備については、社会実験や本格導入された後の交通の流れや交通量の推移を十分見極めながら検討してまいりたい。

流杉パーキングエリアを活用したスマートインターチェンジ(ETC専用)は、3月末開通を目指し工事が進められています。

## 視点!

### プロのスポーツチームを地域みんなの力で支えよう!

富山ではプロのスポーツチームとして、グラウジーズ、サンダーバーズ、カターレ富山が誕生しました。県民に元気と一体感をもたらしてくれる本県のプロスポーツを地域で支えていく意味から、側面的な支援をすることも必要です。例えば、集客の観点から立地好条件の県営富山球場にナイター照明設置や最小限の改修を行い、チームに多く利用してもらうなどが考えられます。

みなさんのご意見をお聞かせください

## 今年の言葉

糸

殺伐とした現状から、人と人、地域と地域、人と地域のつながりを取り戻したい、大切にしたいとの思いから揮毫しました。

北日本新聞ギャラリーにて



## 暫定税率が廃止になると、大変なことに!

ガソリン税や自動車重量税などは「道路特定財源」といって、暮らしの基盤となる道路の維持・整備のために使われています。現在、県では法律に基づいて、本来の税率を暫定的に引き上げる措置によって必要額を確保しています。

ところが、この暫定税率引き上げを規定した「租税特別措置法」は、平成20年3月31日までの時限措置。それ以降は法律が無効になるため、暫

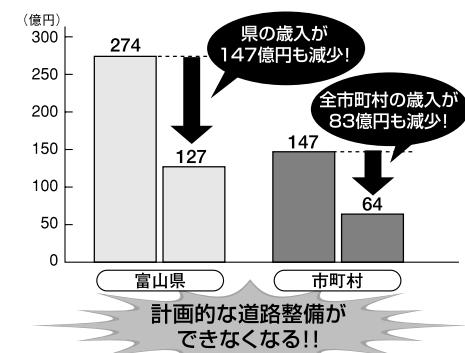
定税率の措置がなくなってしまいます。

そうなると、県の歳入が大幅に減少します。平成19年度の富山県道路関係予算で試算すると、約54%にあたる147億円も減少し、市町村では83億円も減少することになります。これでは、新しい道路をつくるどころか、今ある道路の維持管理も困難になります。

もしも橋梁やトンネルなどが使えなくなったら、

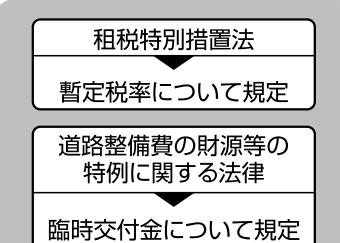
老朽化した舗装を直せなくなったら、除雪の回数を減らさざるを得なくなったら、歩道や側溝の整備ができなくなったら、クルマや電車などと一緒に、私たちの安全も快適な暮らしも止まってしまいます。これを防ぐためにも、平成20年度の通常国会において、道路特定財源に関する所要の法改正が必要です。一刻も早く、道路財源を確保するための対策を!

### ◆暫定税率が廃止になると…



### ◆道路特定財源

国の税	地方の税	〈本則〉	〈暫定〉
ガソリン税		国 24.3円/㍑ 地 4.4円/㍑	国 48.6円/㍑ 地 5.2円/㍑
軽油引取税		地 15.0円/㍑	地 31.1円/㍑
石油ガス税		国 17.5円/kg 地 17.5円/kg	
自動車重量税		国 地 2,500円/0.5t年	国 地 6,300円/0.5t年
自動車取得税		地 取得価格3%	地 取得価格5%



しかし、これらの法律は、平成20年3月までの時限措置!

## ◎中川ただあきの主な活動

- 8.1 ●厚生環境常任委員会  
8.2 ●自民党企画財務部会・議会運営委員会・政調会  
8.3 ●役員会・自民党議員会・知事に申し入れ  
8.4 ●中川原ほか納涼祭  
8.5 ●忠友親睦ゴルフ大会・西畠町内大運動会  
●五本幸正後援会総会  
8.9 ●富山県日華親善協会理事会  
8.10 ●日中友好富山地方議員連盟総会・日韓友好議員連盟総会  
8.12 ●閣民館竣工式  
8.15 ●富山県競輪者追悼式  
8.17 ●富山県医薬品配置業者大会・富山高校同窓会総会  
8.18 ●中川ただあき太田地区後援会総会  
8.19 ●ふるさと富山美化大作戦・中川ただあき山室地区後援会設立総会  
8.20 ●農林水産省(東京)  
8.21~22 ●常西湖用水土地改良区役員研修(四国)  
8.23 ●政調会・自民党県連拡大役員会  
8.24 ●役員会・農業振興議員連盟・斜面防災陳情  
8.25 ●自民党富山県連支部長・幹事長・事務局長会議  
●高森ひろひばークゴルフ大会  
●中島與希氏叙勲受賞祝賀会・耕地課80周年祝賀会  
●中川ただあき後援会総会・少林寺拳法富山県大会  
●丸山治久後援会総会  
8.27 ●土木工陳情・役員会・政調会  
●北陸銀行創業130周年記念感謝のつどい  
8.28 ●自民党正副部会長会議  
8.29 ●政調会・役員会・自民党議員総会  
●どこかぼちや大会  
9.2 ●美昌会SPコンサート・河合常則参議院議員会  
9.5 ●富山ライオンズクラブ例会  
9.6 ●山室中部自治振興会役員会  
9.7 ●月岡丁目県政報告会  
9.10 ●厚生環境常任委員会  
9.11 ●9月定期会(本会議、提案理由)・自民党議員総会・役員会  
●自民党北信越ゴルフ幹事長・政調会長会議(新潟)  
9.12 ●自民党全国幹事長・政調会長会議(東京)  
9.13 ●本会議(代表質問)・各会派代表者会議・MOA県政報告  
9.14 ●山室中部校下自治振興会役員会  
9.15 ●山室小学校運営会・山室中部校下敬老会  
9.16 ●町村町内大運動  
9.17 ●グラウンドゴルフ竣工式  
9.18 ●本会議(一般質問)・自民党朝勃強会・政務調査費WT  
●長政会総会  
9.19 ●本会議(一般質問)・議会運営委員会  
●中川ただあきと考え語る会(忠考会)  
9.21 ●予算特別委員会  
9.22 ●自民党総裁選挙開票・自民党県連常任総務会  
9.23 ●太田南町敬老の集い  
9.24 ●富山インターアカデミーゴルフコンペ  
9.25 ●予算特別委員会・石黒久雄氏叙勲お祝いの会・自民党朝勃強会  
9.26 ●常西湖用水土地改良区竣工式・祝賀会  
●厚生環境常任委員会・議会運営委員会  
9.27 ●本会議(採決)・自民党役員会・自民党議員総会  
9.28 ●教育警務常任委員会  
9.29 ●わくわく保育園秋の運動会・自民党山室支部役員会  
9.30 ●住民大運動会(山室)・太田住民グランドゴルフ大会  
●自民党県連政調会長会議・自民党県連富山ブロック会議  
●正副部会長会議・友好団体との懇談会

- 10.2 ●忠政会ゴルフ大会・自民党県連射水・新川ブロック会議  
●富山ライオンズクラブ例会  
10.3~4 ●人間ドッグ  
10.4 ●富山県宅建協会との懇談会  
10.5 ●台北駐大阪経済文化所國慶節祝賀会  
●富山青葉センター30周年記念祝賀会  
10.7 ●住民大運動会(山室中部・太田・月岡)  
10.10 ●富山県私学幼稚園振興大会  
10.11 ●自民党政調会  
10.12 ●上市信用金庫グリーン会  
10.13 ●第9回忠友グリーン会ゴルフコンペ  
10.14 ●山室・山室中部・太田MOA児童美術作品展・流杉バーベキュー  
10.15 ●水橋商業会知事表敬に同行  
10.16~18 ●厚生環境常任委員会視察(青森県)  
10.19 ●自民党政調会  
10.20 ●新潟大学工学部同窓会  
10.21 ●辻ヶ原バーベキュー・山室中部30周年記念式典・山室校下敬老会  
10.22 ●光友会グリーン会  
10.23 ●自民党朝勃強会・自民党富山県連拡大役員会  
●忠友グリーン会(県庁OB)  
10.24 ●自民党県連政調会長会議  
10.24~25 ●自民党全国幹事長・政調会長合同会議(東京)  
10.26 ●不二越社秋季祭礼・政務調査費WT  
10.27 ●上千代ゴルフ大会・中川ただあき月岡地区後援会総会  
10.28 ●山室中部30周年記念ふるさと探訪ウォーク  
●ふるさと太田文化祭・力士健感激会・中川原生産組合  
10.29~31 ●企画財務部会視察(北海道)  
11.1 ●富山県飲食業ホーリング大会  
11.2 ●北陸書道院展祝賀パーティー  
11.3 ●日本自治学会第70回総会・山室校下住民運動会反省会  
11.4 ●高森真弓ゴルフ大会  
11.5 ●議会運営委員会・自民党企画財務部会  
●富山県地方議員連絡協議会・自民党政調会・議員総会  
11.6~7 ●GL議員連盟利賀村研修会  
11.7 ●神田真邦ゴルフ大会  
11.8 ●建設協議会富山支部懇談会  
11.9 ●山室中部校下30周年祝賀会  
11.10 ●山室自治振興会研修会・山室俊男参議院議員を囲む会  
●三寿苑祭・自民党月岡支部総会  
11.12 ●北陸新幹線要望活動(東京)  
11.13 ●流杉PAスマートIC工事現地視察  
11.14 ●自民党政調会  
11.15~18 ●富山県日華親善協会台湾公式訪問  
11.19 ●自民党正副部会長会議  
●富山県宅地建物協会40周年記念式典・祝賀会  
11.20 ●自民党政調会  
11.21 ●古賀誠自民党選対策委員長と意見交換  
11.22 ●自民党政調会・北電参与会  
11.23 ●中川ただあき水橋上条後援会県政報告会  
11.24 ●小坂行春氏叙勲祝賀会・少林寺拳法懇談会  
11.25 ●自民党山室支部研修会  
11.26 ●自民党議員総会・役員会・富山市政懇談会  
●常西湖用水土地改良区役員会  
11.28 ●自民党政調会・政務調査費WT  
11.29 ●自民党政調会・議員総会・地域活性化対策特別委員会  
11.30 ●友の会県政報告会  
12.1 ●長勢甚遠国政報告会

- 12.3 ●厚生環境常任委員会・石川県議会・北日本新聞感謝の集い  
12.4 ●富山ライオンズクラブ例会・山室自治振興会役員会  
12.5 ●12月例会本会議(提案理由)・勉強会・役員会・議員総会  
●自民党役員会・知事へH20年度予算要望・定例記者会見  
●JAP社員推薦委員会・山室中部自治振興会役員会  
●本会議(代表質問)・森雅志親睦会・幸恵会忘年会  
●ミュージックフェスティバル(自衛隊懇親会)  
●本会議(一般質問)・中川忠昭質問・自民党役員会  
●高田真会長北日本新聞文化功労賞受賞祝賀会  
●中川ただあきと農業を語る会  
●本会議(一般質問)・自民党役員会・議員総会  
●都市・農山漁村地域交流活性化推進議員連盟勉強会  
●支部長・幹事長・事務局長会議・高友会忘年会  
●天政会・中川原生産組合決算総会  
●予算特別委員会  
12.18 ●予算特別委員会・政調会・富山県左官事業協同組合  
●各会派代表者会議・厚生環境委員会・議会運営委員会  
●本会議(採決)・自民党役員会常任総務会・自民党・議員総会  
●水見市へ  
●土曜ふれあいもつづき(山室中部)・富山市ゲートボール協会理事会  
12.23~24 ●新潟県日華親善協会総会(新潟市)  
12.26 ●「水と土のふれあい塾のもちつき大会」  
●カボンボジア親善協会設立準備会  
12.29~30 ●各消防分団特別警戒激励  
1.1 ●初詣・実践倫理宏正会元朝式  
1.4 ●新年初顔あわせ(県議会・自民党県連)・丸栄運輸新年会  
1.5 ●富山市中央市場初せり・山室校下体育協会新年会など  
●富山市消防出初式・山室消防団出初式重合  
●長勢甚遠・野上浩太郎氏新春の集い・相澤グループ新年会  
1.7 ●立正教会・城南会新春親睦会・中川原町内定例会  
1.8 ●不二越神社元旦祭・富山ライオンズクラブ新年会  
1.9~10 ●鶴来水産省富山県人会(東京)・富山市体協新年会  
1.11 ●山室自治振興会常任理事会・山室地区補導委員会新年会  
1.12 ●自民党県連女性部新年会・町村古寺康寿会新年会  
1.13 ●山室中部成人式  
1.15 ●富山県美容業組合新年会・議会運営委員会  
1.16 ●自民党政調会・富山県生活衛生同業組合連合会新年会  
1.17 ●自民党大会(東京)・富山県インテリア事業協同組合新年会  
1.18 ●自民党政調会  
1.19 ●鳩工工業組合新年会・自民党水橋上条支部総会  
1.20 ●富山交通安全協会山室中部支部新年会・長政会新春の集い  
1.21 ●富山県日華親善協会理事会  
1.22 ●厚生環境常任委員会・とやまダイケンホーム新年会  
1.23 ●自民党政調会・正副部会長会議・役員会  
●富山県飲食業生活衛生同業組合新年会  
●常西湖用水土地改良区役員会・(社)月岡新年会  
1.24 ●山室校下高砂会新年会・富山県鉄構工業協同組合新春懇談会  
1.25 ●富山県鉄構工業協同組合新春懇談会  
1.26 ●日建大工富山県支部総会・公明党新春躍進のつどい  
●自民党山室支部役員会  
1.27 ●太田中公民館竣工祝賀会  
1.28 ●自民党政調会  
1.29 ●自民党政調会・役員会  
1.30 ●自民党県連拡大役員会・政調会・役員会



山室中部「ゆっくり歩こう」ふるさと探訪にて



同僚議員と高橋北海道知事を訪ねて



恒例のもちつき大会(自宅にて)

## ごあいさつ

2年ぶりの雪で迎えたお正月、皆様にはお健やかに過ごされたこと存じます。昨年は中川ただあき後援会に対しまして格別のご支援とご協力を賜り、心よりお礼を申しあげます。お陰様で、中川ただあき議員、3期目の当選を果たすことができました。また、自民党県連政調会長として県政発展のために頑張っていきます。こうして仕事ができるのも皆様のご支援の賜物であり、深く感謝申し上げます。さて、国政は昨年7月以降、衆・参ねじれ国会となり、政局は不安定、不透明の状態であります。いつ衆議院解散、総選挙となるかわからない情勢であります。後援会と致しましてはどのような事態になろうとも、中川ただあき議員の今年の言葉『絆』を大事に活動をさらに推進して参ります。皆様のより一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。本年も皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

中川ただあき後援会会長 堀田 敏夫

いっしょに創ろう、  
心豊かな社会  


中川ただあき  
シンボルマーク主旨  
熱い思いで、心豊かな  
地域づくり、県づくりに  
全エネルギーを傾注す  
る私自身の姿を、中川  
の頭文字「N」をモチ  
ーフに表現。手足を大き  
くひろげ、元気に活動する  
姿と重ね合せました。

## 中川ただあきの主な役職

- 自民党県連政務調査会長
- 議会運営委員会委員
- 厚生環境常任委員会委員
- 常西湖用水土地改良区理事長代理
- 富山県自家用自動車協会連合会副会長
- 富山県スケート連盟副会長など

中川ただあき  
後援会事務所

〒939-8015 富山市中川原368  
TEL.076-425-1924/495-8739  
FAX.076-425-1971

あなたのご意見やアドバイスをお待ちしています。

★Eメールアドレス★  
nakagawa@tadaaki.jp

 PRINTED WITH SOY INK™  この冊子は地球環境にやさしい  
水無し印刷で作成しました。